

調査結果と授業改善のポイント〔小学校・社会〕

社会科については、児童の平均正答率は58.0%で、全国平均59.2%を1.2ポイント下回っている。
 問題の内容別の平均正答率では、〔工業生産〕の「自動車をつくる工業」が3.2ポイント全国平均を上回っている一方、〔農業や水産業〕と〔情報産業や情報社会〕は下回っている。
 評価の観点別の平均正答率では、「観察・資料活用の技能」が全国平均と同ポイントである一方、「社会的事象についての知識・理解」は1.7ポイント、「社会的な思考・判断・表現」は1.6ポイント下回っている。
 解答形式別の平均正答率では、「記述式」が1.2ポイント全国平均を上回っているが、「短答式」は3.6ポイント下回っている。
 全国との差はわずかであるものの16項目中12項目の種別が全国平均正答率を下回っており、すべての学年や単元を貫く指導のあり方について、検討・改善を図っていく必要が認められる。

対象児童数	設問数	平均正答率(県) %	平均正答率(全国) %	全国との差
880人	30問	58.0	59.2	-1.2

種別		対象設問数	平均正答率(県) %	平均正答率(国) %	全国との差	
問題の内容	国土の自然などの様子	世界の中の国土	3	53.9	56.8	-2.9
		日本の国土と人々の暮らし	4	52.1	51.4	0.7
		わたしたちの生活と環境	2	75.5	78.4	-2.9
	農業や水産業	日本の農業	4	54.3	57.3	-3.0
		日本の食料生産	4	48.5	51.4	-2.9
	工業生産	自動車をつくる工業	5	74.8	71.6	3.2
		工業生産と工業地域	3	44.8	46.0	-1.2
		工業生産と貿易	3	57.0	60.2	-3.2
	情報産業や情報社会	わたしたちの生活と情報	2	63.4	66.8	-3.4
評価の観点	社会的事象への関心・意欲・態度	12	59.5	60.6	-1.1	
	社会的な思考・判断・表現	20	56.4	58.0	-1.6	
	観察・資料活用の技能	24	57.4	57.4	±0	
	社会的事象についての知識・理解	19	59.0	60.7	-1.7	
解答形式	選択式	21	61.0	61.8	-0.8	
	短答式	7	48.2	51.8	-3.6	
	記述式	2	60.1	58.9	1.2	

【設問ごとの状況】

○：全国正答率を上回る問題
 ▼：全国正答率を下回る問題
 ()内の数は県と全国の正答率の差

〈国土の自然などの様子〉

- 土地高低図から土地の様子を読み取り、示された地形の名称について理解しているかを問う問題〔選択〕〈知〉(+14.0)
- ▼日本の川の特徴について資料をもとに考えることができるかを問う問題〔短答〕〈思〉(-8.9)
- ▼地球儀と説明文を読み取り、示された国名と位置について理解しているかを問う問題〔選択〕〈知〉(-5.0)

〈農業や水産業〉

- ▼食料自給率について理解しているかを問う問題〔短答〕〈知〉(-11.6)
- ▼カントリーエレベーターの役割について理解しているかを問う問題〔選択〕〈知〉(-6.1)
- ▼米粉製品が開発された背景について資料から読み取り、その内容を表現することができるかを問う問題〔記述〕〈思〉(-5.8)

〈工業生産〉

- 自動車の輸出の様子についての説明文を完成させることができるかを問う問題〔記述〕〈思〉(+8.3)
- 自動車の生産過程の順番について理解しているかを問う問題〔選択〕〈知〉(+6.4)

- 自動車の生産過程についての説明文と絵とを合致させることができるかを問う問題〔選択〕〈技〉(+5. 1)
- ▼自動車の部品を作る工場について理解しているかを問う問題〔選択〕〈知〉(-8. 1)
- ▼工業生産に関連した価格や費用について理解しているかを問う問題〔選択〕〈知〉(-6. 2)
- ▼日本の工業地帯や工業地域の特色を資料から読み取ることができるかを問う問題〔選択〕〈技〉(-5. 6)
〈情報産業や情報化社会〉
- ▼メディアの特色について理解しているかを問う問題〔選択〕〈知〉(-5. 0)

【授業改善のポイント】

- **学習すべき知識や概念を明確にした上で授業を展開する。**
食料自給率・国名と位置・日本との貿易額の多い国名について問う設問等から、次の点を重視する。
児童が学習すべき知識や概念は、教師にとっては指導・評価すべきものであることを踏まえ、
手順1 単元の目標や内容を明確に把握する。(学習指導要領, 同解説, 教科書を読む)
手順2 評価規準を明確に把握する。(『評価規準の作成, 評価方法等の工夫改善のための参考資料』参照)
手順3 「社会的事象についての知識・理解」の評価内容を明確に把握する。(「知識を整理した図」等を活用することも考えられる)
手順4 明確にした学習すべき知識や概念を習得・活用させながら、問題解決に向かう授業を展開する。
- 「見通す」学習において、解決していく問題(課題)を自分事としてとらえ、「主体的に学習に取り組む」意識を高めるための展望をもつことができるよう指導する。
漁業の種類や特色についての知識をもとに生産量の変化を把握できるか・日本の工業地帯や工業地域の特色を資料から読み取ることができるかについて問う設問等から、次の点を重視する。
重点1 社会的事象への疑問や問いを引き出したり問い返したりすることを通して、自分達が解き明かしたい、もしくは解決すべき問題(課題)があることを意識させ、学習問題(課題)を設定する。
重点2 学習問題(課題)について分かりたい事柄や調べる手順等について話し合い、予想したり学習計画を立てたりする等して、問題解決していくことに対する楽しみ感を意識させる。
- 「振り返る」学習において、調べたことや考えたことまとめる活動を展開するにあたっては、学習した用語や固有名詞等を意図的・積極的に使って表現するように指導する。
日本の川の特色について資料をもとに考えることができるか・米粉製品が開発された背景について資料から読み取りその内容を表現できるかについて問う設問等から、次の点を重視する。
学習した用語や固有名詞等を板書やワークシート等を使って復習・再確認させた上で、実態に応じ、
例1 学習した用語や固有名詞等を使い、地図や年表、図表、文章にまとめる活動を適切に設定する。
例2 学習した用語や固有名詞等を使いながら友達と話し合う等、「学び合い」活動を適切に設定する。
例3 学習した用語や固有名詞等を自分の文脈の中で使い、友達等に説明する活動を適切に設定する。

【正答率の高い設問】 上位3題

No.	問題の内容	正答率(%)
1	農業が直面している課題について考えることができるかを問う問題	91.0
2	自動車の生産過程についての説明文と絵とを合致させることができるかを問う問題(枝問2つの平均)	90.3
3	環境を大切にするリサイクルについて理解しているかを問う問題	83.0

【正答率の低い設問】 下位3題

No.	問題の内容	正答率(%)
1	日本の川の特色について資料をもとに考えることができるかを問う問題	26.7
2	漁業の種類や特色についての知識をもとに生産量の変化を把握できるかを問う問題	27.8
3	食料自給率について理解しているかを問う問題	34.9

【無解答率が高い設問】 下位3題

No.	問題の内容	無解答率(%)
1	日本との貿易額の多い国名を理解しているかを問う問題	17.7
2	米粉製品が開発された背景について資料から読み取り、その内容を表現できるかを問う問題	13.6
3	環境を大切にするリサイクルについて理解しているかを問う問題	11.9

